

令和5年度事業報告について

令和5年度は、新たに策定した第3次中期事業計画の初年度として、計画に盛り込まれた事業の着手および推進を行い、社会環境の変化に柔軟に対応し事業を展開した。

がん検診事業においては、検診受診率および精検受診率の増加を図るため、健康情報の発信、市町と協力した受診勧奨や広域検診に取り組むとともに、精度管理の維持向上に努めた。令和5年度の受診者総数は162,347人で、対前年比3,366人増(2.1%増)となり、コロナ禍以前の令和元年度と比較し91.9%まで回復した。

内訳として集団検診においては、受診者数は81,359人で対前年比1,766人増(2.2%増)となったが、令和元年度との比較では78.5%であった。一方、個別検診(妊婦検診含)においては、県医師会や医療機関の協力により、受診者数は80,988人で、対前年比1,600人増(2.0%増)となり、令和元年度との比較でも111.0%となった。

ふくい健康の森管理運営事業においては、4期目の指定管理者受託の最終年度となり、安心安全な事業運営を維持するとともに、利用者意見の積極的な把握や施設情報の発信強化により利用者確保に努めた。その結果、県民健康センターの健康診査受診数は5,717人と過去最高であった前年と比較すると83人減(1.4%減)であったが、けんこうスポーツセンター・スポーツ公園の利用者数は227,808人で対前年比24,694人増(12.2%増)、生きがい交流センターの利用者数は112,884人で対前年比13,850人増(14.0%増)となった。

令和2年度から実施している「心をひとつに ふくい応援」基金運用事業については、新型コロナウイルス感染症対策の最前線で働く医療従事者等へ、勤務環境の改善等のため、県と協力し基金の配分等を行い事業を終えた。

1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づき、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取り組むとともに、必要な情報の提供等を行った。

また、新型コロナウイルス感染症患者の治療等に当たる医療従事者等の環境改善等および感染症対策の充実のため、福井県と連携して、県民等からの寄付からなる基金を造成し、それを原資に医療従事者等に助成を行った。

(1) がん検診事業

① 精度管理の維持・向上

がん検診の信頼性・実効性を担保する精度管理の重要性を踏まえ、その一層の向上に努めた。また、円滑な検診のため読影体制の整備や機器更新に取り組んだ。

- ・乳がん検診読影デジタル化に伴う外部読影施設のシステム設定（2施設）
- ・胃がん検診8号車のX線管球の交換
- ・子宮頸がん検診に使用する機器（細胞攪拌機）の更新

② 受診者確保事業

小規模事業所を対象とする検診受診の啓発や、県・市町等と連携した受診勧奨により受診確保に努めた。また、検診会場での感染症対策を継続し、受診者が安心安全に受診できる環境整備に取り組み、受診者確保に努めた。

- ・小規模事業所検診(肺がん、大腸がん 他)
- ・市町と事業所連携の広域検診(子宮がん・乳がん 他)
- ・県や市町と協力した休日レディース検診

受診者数 : 839人 (令和4年度 1,223人)

○がん検診実施状況

区分	令和5年度(人)			令和4年度(人)			比較増減(人)			比較増減(%)			
	集団	個別	妊婦	集団	個別	妊婦	集団	個別	妊婦	集団	個別	妊婦	
胃がん	7,786	9,769	—	8,029	10,078	—	△243	△309	—	△3.0	△3.1	—	
大腸がん	29,146	19,204	—	28,263	18,954	—	883	250	—	3.1	1.3	—	
肺がん	X線	24,991	21,366	—	24,353	21,231	—	638	135	—	2.6	0.6	—
	喀痰	220	80	—	267	125	—	△47	△45	—	△17.6	△36.0	—
子宮がん	8,836	15,782	4,422	8,781	14,805	4,598	55	977	△176	0.6	6.6	△3.8	
乳がん	10,380	10,365	—	9,900	9,597	—	480	768	—	4.8	8.0	—	
小計	81,359	80,988		79,593	79,388		1,766	1,600		2.2	2.0		
合計	162,347			158,981			3,366			2.1			

③ 業務効率化

業務の効率化を図るため、IT化に取り組んだ。

- ・結果通知業務における紙媒体のデータ化（大腸がん）
- ・IT化促進のための職員研修や専門家への相談

(2) がん検診受診勧奨事業

市町からがん検診受診勧奨業務を受託し、検診未受診者を対象に勧奨を行い、受診率向上に協力した。また、医療機関からの受診報告をもとに、市町と連携し精密検査未受診勧奨を併せて行った。

勧奨件数 : 4,382人（令和4年度 4,981人）
実施市町数 : 12市町（令和4年度 12市町）

(3) 健康情報発信事業

がんをはじめとする健康に関する正しい情報の発信・普及啓発に努めた。また、啓発活動や取り組み状況を広く発信し、協会の認知度向上に努めた。

- ・がんネットのQRコードの発信強化（精検通知封筒への掲載）
- ・がんネットにおいて検診に関するコラムや医療機関情報等の発信
コラム掲載 : 11回（令和4年度 9回）

(4) 健康診査事業(県民健康センター)

健診の精度管理、感染症対策を含めた施設の安全管理に努め、健康診査を実施した。また、受診者意見や要望を積極的に把握し、健診内容の充実や利便性向上を図り、利用者増に努めた。

① 受診者確保事業

従来の大口顧客（地方職員共済組合、公立学校共済組合等）との関係強化や新規事業所等への渉外活動を行うとともに、受診環境等の改善に取り組み、リピーターの確保および新規受診者獲得に努めた。

- ・女性の健康支援を目的とした「女性の健診日」の周知
- ・乳房超音波検査のオプション実施
- ・胃内視鏡室床張替え

② 利用者の利便性向上

受診者の要望に応じ、健診体制の整備に努め利便性の向上に努めた。

- ・アンケート調査による受診者の意見要望の反映と業務改善
- ・マイナンバーカードの健康保険証利用開始

○健康診査実施状況

コース別	令和5年度(人)	令和4年度(人)	比較増減(人)	比較増減(%)
総合	1,310	1,304	6	0.5
一般健診	3,869	3,953	△84	△2.1
特定健診	27	19	8	42.1
特定保健指導	213	218	△5	△2.3
その他の健診	298	306	△8	△2.6
計	5,717	5,800	△83	△1.4

(5) 無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)

県民健康センターや生きがい交流センターにおいて、一般県民を対象に健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施した。

利用人数 : 516人(令和4年度 352人)

(6) 啓発・キャンペーン事業

9月の「がん征圧月間」、10月の「ピンクリボン月間」をがん検診・対策集中PR月間とし、県、市町、協会、民間が講演、イベントなどを集中的、連続的に展開するとともに、県を通じこれらの取組みを一元的に広報、PRした。

① がん征圧月間(9/1～30)の取組み

がん征圧月間ポスター等の配布、マスコミを利用した広告、広報活動等を実施した。

② 関係機関、団体等との連携

県やピンクリボンの会(ピンクリボンキャンペーン)と協力し啓発活動を行った。

・乳がん検診普及啓発ライトアップ(アオッサ 10/2、3)

(協力:福井テレビジョン放送(株)、福井高等学校デザイン分野 等)

③ 日本対がん協会グループ福井県支部としての活動

がん患者や家族、支援者等が一堂に会してのチャリティイベント(リレー・フォー・ライフ・ジャパンふくい)を開催し、募金活動によるがん患者支援やがん情報の発信等を行った。(ふくい健康の森400mトラック 10/7)

参加人数 : 430人

寄付額 : 603,661円(令和4年度 773,382円)

④ 結核予防週間（9/24～30）の取組み（結核予防会福井県支部としての活動）
啓発ブースの設置（嶺北：県庁1Fホール、嶺南：若狭図書学習センター）、結核予防ポスター等の配布、マスコミを利用した広報等による啓発活動を実施した。

寄付額：2,154,500円（令和4年度 2,140,400円）

⑤ 講演会・研修会の開催

市町や企業等、各種団体が主催する講演会に講師派遣をした。

医師講演：14回（令和4年度 9回）

⑥ ふくいSDGsパートナーへの登録及び活動

県民の健康づくりを支援するため、SDGsパートナーへ登録し活動に取り組んだ。

活動：上記②、③事業

子どもたちへのスポーツ教室の提供

親から子へ遊び方を伝承する場の提供



(7) 「心をひとつに ふくい応援」基金運用事業

新型コロナウイルス感染症対策の最前線で働く医療従事者等の勤務環境の改善等のため、昨年度に引き続き福井県と連携して県民等から寄付を募り、基金配分委員会にて決定し配分先へ助成した。

基金総額：450,690円（令和4年度 4,454,446円）

配分実績：2機関 8,714,485円

（令和4年度 24機関 24,810,000円）

2. 健康づくり・体力づくり・生きがいくりに推進事業

「ふくい健康の森」の施設を活かし、県民の健康づくり・体力づくり・生きがいくりを一体的に推進するための各種教室の開催や施設の提供を行った。県民健康センターではイベント実施等による内容の充実、スポーツセンター・生きがい交流センターでは施設間の連携や関係団体との連携により、ターゲットを絞り利用者増に努めた。また、SNS等の活用により施設情報を広く周知・拡散を行った。

(1) 健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業（県民健康センター）

生涯を通じて積極的な健康づくりのため、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立を目指して健康増進各種教室を実施した。また作業療法士による地域リハビリテーション事業（地域支援事業）の運動障害回復訓練事業を実施した。

健康増進各種教室利用人数：224人（令和4年度 173人）

運動障害回復訓練利用人数：3,017人（令和4年度 3,532人）

(2) 運動プログラム指導事業・体力づくり教室事業(けんこうスポーツセンター)

個人の健康づくりへの支援として、トレーニングジムおよび温水プールでは利用者個々の運動目的に応じたプログラム発行や3か月減量講座において内容を明確な達成目標を設定するなど、きめ細かで質の高いアドバイスを行った。また、フレイル予防教室や子ども向け教室など対象者を絞った講座の提供、利用者ニーズの把握による内容更新等を行った。

運動プログラム指導 利用人数： 5, 875人(令和4年度 6, 102人)
体力づくり教室 ほか 利用人数： 61, 040人(令和4年度 53, 398人)

(3) 生きがいづくり推進事業(生きがい交流センター)

世代間の交流や趣味を広げ、楽しみながら生きがいづくりに取り組めるよう各種教室を開催した。また、関係団体との連携による催しを行い、広く県民への利用促進に努めた。

文化講座 ほか 利用人数： 4, 332人(令和4年度 2, 842人)

(4) 施設の提供事業

県民の健康づくりの総合施設として、各施設において健康づくり・体力づくり・生きがいづくりの機会と場所を提供した。また、安全安心な施設の管理運営に努めた。

(県民健康センター)

健康増進を目的とした会議室や研修室等の貸出を行った。またエントランスホールや運動指導室を活用した教室・イベント等の実施により、施設のPRに努めた。

○施設利用実績状況

区分	令和5年度(人)	令和4年度(人)	比較増減(人)	比較増減(%)
施設利用	91	152	△61	△40.1

(けんこうスポーツセンター)

温水プールやトレーニングジム、テニスコート等の屋内外の各種運動施設など、安心して楽しく運動が実践できる場を提供した。夏季繁忙期には家族連れの利用増加の取り組みとして、小学校低学年対象に無料券を配布し施設利用促進に努めた。

○施設利用実績状況

区分	令和5年度(人)	令和4年度(人)	比較増減(人)	比較増減(%)
スポーツセンター・温水プール	174, 135	148, 980	25, 155	16. 9
スポーツ公園	53, 673	54, 134	△ 461	△ 0. 9
計	227, 808	203, 114	24, 694	12. 2

(生きがい交流センター「健康の森温泉」)

「健康の森温泉」として、コンサート等の催事を通じ温泉としての魅力を高めたり、ファミリー層を対象に子どもと親が楽しむことが出来るキッズスペースの設置、関係機関との連携により公園を活用した利用者確保に努めた。

○施設利用実績状況

区 分	令和 5 年度(人)	令和 4 年度(人)	比較増減(人)	比較増減(%)
健康の森温泉	108,141	95,611	12,530	13.1
交流ホール等	4,743	3,423	1,320	38.6
計	112,884	99,034	13,850	14.0

3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生きがいづくり推進事業に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行った。

(1) 研究・研修事業

① 研究会等への参加および開催

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、県医師会や県と連携し各部位別研究会等を開催した。また、学会等へ参加し研究成果を発表した。

参加回数 : 26回 (令和4年度 26回)

② 研究事業への支援・協力

がん検診を県下一元的に実施していることを生かし、各研究への協力を行った。

- ・ 「子宮頸がん検診の未受診者に対する自己採取 HPV 検査の受診率向上効果の検証」(福井大学産科婦人科) にかかる検査の実施
- ・ 特定臨床研究「福井県の対策型検診に参加した 27 歳～45 歳で細胞診正常であった女性に HPV4 価ワクチン (ガーダシル®) を接種することによる HPV16 型と HPV18 型の持続感染予防効果を評価する 2 群間比較試験」(福井大学産科婦人科) における検査とデータ処理の実施

(2) 広報活動

健康管理協会、ふくい健康の森の広報の強化

営業広報推進チームにより、がん検診事業、健康の森管理運営事業の広報業務を取り纏め、全職員が一体となって戦略的に取り組んだ。健康の森通信については、掲載内容を見直し紙面の効果的な活用と、各SNSの活用により、幅広い顧客へ即時的な情報発信に努めるなど、施設の特性に合わせたPR活動を実施した。

- ・季刊誌「健康の森通信」の発行
- ・LINE や Instagram などによる定期的な情報配信
- ・LINE 登録者へのアンケート配信
- ・Instagram フォトコンテストの実施
- ・研修会参加によるSNS活用の知識向上

4. 事業報告附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項：なし